

一般社団法人ロボカップジュニア・ジャパン  
平成29年度第3回理事会議事録

1. 日 時 : 2017年5月28日(日) 11:00~12:30

2. 場 所 : 大阪市北区豊崎3-20-1 インターグループビル内  
1階 南館

3. 出席者

(1) 本人出席者 6名

高橋友一、今井俊二、島谷太、中島晃芳、野村泰朗、水野勝教

(2) 委任状提出者 1名

松原仁

(3) 理事以外出席者 6名

金田忠裕(監事)、蟬正敏(監事)、山下真(ワーキンググループメンバー)、  
前田正久(事務局長)、浅沼まり(事務局)、藤村晶子(事務局)

4. 議 事

1. 世界大会に向けて

2. 2018ジャパンオープンに向けて

・会場について

・ジャパンオープン中津川大会での課題について

・ブロック構成、運営内規について

3. 議事録署名人の選定

4. その他

5. 資 料

資料1-1. ジャパンオープン2017アンケート(データ編)

1-2. ジャパンオープン2017アンケート(コメント編)

1-3. ジャパンオープン2017反省点

資料2-1. 運営規程の改定について

2-2. 運営規程ver5.00

2-3. 2017ノード大会出場チーム調査結果リスト

2-4. 2017ノード大会参加人数調査結果リスト

資料3. ロボカップジュニアの課題と将来への提案

資料4. 事業予算について 水野理事私案

資料5. 日本委員会H29年度事業計画書より

資料6. RoboRAVEについて

参考資料

6. 議事概要

(1) 議長の選出

①高橋代表理事が開会を宣言し、本総会は、定款第18条の規定を満足しており、成立していることを報告した。

(2) 世界大会に向けて

①野村理事より世界大会について報告がなされた。現時点で日本から9チーム34名、全体では190チームが事前登録を完了しており、登録締切りは6月末日である。LOCとしては、現在フィールドレイアウトについてOCにフィードバックを求めていること、マテリアルリストを作成中であること、サッカーチャレンジでのオレンジボール採用についてOCの確認が取れたこと等が報告された。

世界大会参加者向け事前講習会については、6月4日(日)に開催する予定である。また、ボランティアは必要数の半数近くしか集まっていないため、ブロック長意見交換会でブロック長に協力を呼びかけることとなった。世界大会の国内開催という好機を有効活用し、それぞれの今後の活動に

生かしてもらいたいというRCJJの意向が確認された。

(3) 2018ジャパンオープンに向けて

①前田事務局長より、2018ジャパンオープン開催地選定について報告があった。昨年末よりフジテレビの台場スタジオでの開催を検討の話があり、費用面等の条件を整理してきた。現在、諸々の課題があり、8月末を期限に最終決定の予定である。並行して、他の地域・大学での開催も検討する。和歌山市開催については、和歌山商工会議所に打診する。開催月についても、3月と5月のどちらが適切か、開催地との兼ね合いも考慮し今後検討していく。

②中島理事より、資料1に基づき、先般HP上で実施された中津川大会に関するアンケート調査の結果が報告された。主にチームメンバー・スタッフ・メンターから回答があり、全体およびチャレンジ毎の運営について寄せられた意見を踏まえ改善点を検討し、全体規模は増やさない条件のもとで開催する競技種目（低学年向けの種目、世界大会と国内大会との関連など）を含め、今後の大会に反映させることで、より良い運営を実現していくことが確認された。

③中島理事より、資料2-3、2-4に基づき、ノード大会出場チーム及び参加人数について報告がなされた。これらを踏まえ、今後ブロックの構成について検討していくこととなった。また、男女比率から、女子の参加を増やす工夫が必要であることが確認された。

④水野理事より、資料2-1、2-2に基づき、運営規定の改定について説明がなされた。ジャパンオープンの運営分担及び最終決定権の所在が明確にした運営規定や前項のノード・ブロック構成を反映させる必要がある事の説明があった。その課題解消のための具体的取り組みとして、担当理事がブロック長・技術委員に向けたアンケートを8月末までに実施することとし、その結果を踏まえた理事会原案を作成・提示、理事会案を年末に確定、来年3月の総会で提案することとなった。

(4) その他

①水野理事より、資料3に基づき、RCJJの課題と将来への提案について説明がなされた。これについては、前項(3)の③④と合わせ引き続きブロック長意見交換会で説明することとなった。

②高橋代表理事より、ロボカップ日本委員会とRCJJとの間で交わされた合意事項について説明があり、RCJJが活動していく上で順守しなければならない項目が再確認された。

③高橋代表理事より、資料5に基づき、World Robot Summitについて報告がなされた。産業・サービス・災害・ジュニアの4部門から成るこの催しは、2018年に東京でプレ大会が、オリンピック・パラリンピックと並んで2020年に愛知県で開催される予定で、2020年はRoboCup Asia-Pacificも同時開催される予定である。RoboCup Asia-Pacificは世界大会とは別に、シンガポール・オーストラリア・日本・タイ・イラン・ロシア・中国がメンバーとなり、世界大会の半年後に開催する大会で、今年は12月12-18日にタイ（バンコック）で開催される。RCJJに関係するのはジュニア部門だが、あくまで主としてこれに関わるのはロボカップ日本委員会であり、RCJJとしては、②の覚書に従って、Asia-Pacific参加チーム選抜のための国内大会は開催せずに、ジャパンオープンでの結果を日本委員会に提出する等の立場と日本委員会でのジュニア担当理事を兼ねる水野理事が担当することが確認された。

④中島理事より、資料6に基づきRoboRAVEについての経過説明、高橋代表理事より、中津川大会で意見交換した企業等がデモや競技会をジャパンオープンやブロック大会等で同時開催することにより、スポンサー獲得及び相乗効果が期待できるのではとの提案があった。②の覚書の範囲で、興味を示す企業等からの申し出があれば、当該大会を見学してもらい、その判断材料としてもらうこととする。

⑤次回理事会は9月10日(日)に開催することとなった。

(8) 議事録署名人の選任

本日の議事録署名人として、野村泰朗氏、及び水野勝教氏にお願いすることとなった。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成29年5月28日

議長 高橋 友一

議事録署名人 野村 泰朗

同 水野 勝教

